

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和4年度第9回）議事概要
日 時：令和4年12月23日（金）16：00～17：30
場 所：国立がん研究センター 管理棟 第一会議室 ※Webex 使用
出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、児玉安司理事、北川雄光理事、北川昌伸理事、
本田麻由美理事、小野高史監事、近藤浩明監事、島田中央病院長、大津東病院長

I. 前回（令和4年度第8回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・前回議事録署名人を北川(昌)理事と近藤監事に依頼。

II. 審議事項

1. 決算適正化への対応について（最終報告）
資料に沿って報告された。

III. 報告事項

1. 2022年度研究費モニタリング結果について
資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・チェックリストについてかなり詳細にチェックされていることは評価に値する。これに加えて研究者や経理担当者が書類を作成する際のチェックリストの作成についても検討いただきたい。
- 研究費の取扱いに関してはマニュアルを更新中であり、経理担当者への教育も継続していく。
- 全体運営会議等の運営会議においても本件を具体的事例として紹介し注意喚起を徹底していきたい。
- ・今後の研修の実施やチェックリスト作成による効果の確認を徹底し、PDCA を回していただきたい。またモニタリング報告書の取扱いについて統括管理責任者、監査室に報告と記載されているが、研究費に関する文科省のガイドラインの昨年の改訂では不正防止計画に適切に反映させ、理事会等で最高管理責任者が議論を主導し監事は全体的な立場から意見を述べることとされており、今回の検討事項を反映させていただきたい。
- ・国費、研究費の適正利用は非常に重要なことではあるが、現場の研究者等が使いやすい形とすることも重要であるとする。しかし研究費を年度内で使い切らなければならないという仕組みにも疑問を感じる。必要に応じて次年度以降に繰り越すという仕組みは検討できないのか。
- 研究費の繰り越しについては現行の制度が設けられているが、例えば AMED では異常気象等、予期せぬ外的要因による繰り越しに限られており、かつ財務省とも交渉の上再度契約をするなど手続きが煩雑であるためハードルが高いのが現状である。一方、予算の単年度主義による問題も顕在化していることから、文科省では科研費の基金化も進められており、科研費の約8割が基金化を達成しているとのことである。こういった手段も考慮に入れつつ、研究の推進と適正な経理のバランスを取ってセンターの研究力を高めていきたい。
- ・少額の随意発注が累積する事案といった、通年のモニタリングについては会計担当者からのフィードバックを元に適宜修正しているのか、それとも通年で見て修正してい

るのか教えていただきたい。また、旅費規程について、現状のままでは近年の円安に対応できず、海外での宿泊施設選びに支障が出るのが懸念される。このような事象について議論はされているのか。

- 基本的に分割発注が疑われる場合は契約の段階でチェックがかかるようになっている。単価契約を数回に分けて納入する場合等はチェックの後、事務部門から支払いが行われるようになっている。旅費については大きな課題として認識しており、旅行代理店の導入等も検討中ではあるが、今後の情勢も注視する必要があると考えている。
- 研究管理課で行うモニタリングについては年に一度確認をしている。一方、財務経理課では一月に一回のフィードバックと契約段階での個別確認のダブルチェック体制としている。旅費に関しては研究費を外貨で受け取る場合、そのまま外貨で利用できるような仕組み作りについても検討中である。

2. 2022年度第3回適正経理管理室会議について

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 経理の適切な執行について研究者の利便性も確保しつつ進めていきたい。

3. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 全ゲノム解析について実際に治療薬が新たに見つかり、保険外診療として治療に進んだ事例は何件あるのか。
- 前回 11 月の全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会での発表では、結果は出ているものの治療薬は未投与、事前の確認・検査を行う必要がある、患者さんの容態が悪いなどの理由から、具体的に患者さんに還元できた症例は 1 例であった。今後適用する症例が増えてくれば症例数も増えてくると思われる。
- 全ゲノム解析では融合遺伝子のデータが多く取れるので小児がんや肉腫などの診断、予防・予測に非常に有用である。直接投薬につながるというよりは診断を確定させるといった予防・予測に役に立ったと言えると思われる。

4. 広報実績等

資料に沿って報告された。

5. 令和5年度厚生労働省予算案について

資料に沿って報告された。

6. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

7. 11月分医業件数等

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・ 増加している経費の内訳を確認する上でも、可能であれば理事会説明資料に損益計算書を毎月付けていただきたい。
- 了承した。